

ニーズ調査項目(案)に対する意見

調査票	意見	委員名	事務局コメント
・就学前児童の保護者調査 ・就学児童の保護者調査 ・中学校・高校生年代の保護者調査	子育て世帯年収を把握するのはほかにも方法があるのではないかと 思うが、この調査で必要とするならば調査票提出の網掛として(所得と調査票の提出に関係があるかどうかを推察することに)利用するべきだと思う。	水津	次期計画は子どもの貧困対策計画を包含する予定であり、世帯年収と生活実態に係る質問とのクロス集計を行い、相対貧困家庭の実態を把握したいと考えています。
・就学前児童の保護者調査	作成中。検討用資料について 問9 住まいの地区をここで設定するのは唐突のような気がするが、一番最初か、一番最後まで良いように思うが、他になければここでも。	倉持	ご意見を踏まえ、調査票の最初に並べ替えました。
・就学前児童の保護者調査	作成中。検討用資料について ①問20について 幼稚園のほかにも選択肢を東京都のニーズ調査のように業態をもう少し細かくして、よりリアルな利用状況がわかるようにしたほうがよいのでは？ 理由のひとつは、東京都や世田谷区で行ったニーズ調査ではこのような細かい選択肢がある。下記の内容になるとニーズや利用状況を分析しやすくなると思う。9枚目の問25、21枚目の問60も同様 <修正案> 1.幼稚園 2.幼稚園の預かり保育 3.認可保育所(公立) 4.認可保育所(私立 ※社会福祉法人、株式会社等による運営) 5.東京都認証保育所(※都が独自の基準により認証する保育所) 6.認定こども園(幼稚園枠) 7.認定こども園(保育園枠) 8.小規模保育事業(保育室など) 9.職場内保育所(事業所内保育事業、企業主導型保育事業) 10.ファミリー・サポート・センター 11.家庭福祉員(保育ママ) 12.居宅訪問型保育(ベビーシッターなど) 13.障がい児通所支援事業所(きらり) 14.上記以外の教育・保育施設	北脇	ご意見を踏まえ、修正しました。
・就学前児童の保護者調査	作成中。検討用資料について ②問26について 通うことを考えたら大部分の人が市内だと思うし、特に保育は他市を希望したとしても選考上不利になるため、市外を希望するケースはあまりないと考えられる。この質問はする必要はあるのか？	北脇	ご意見を踏まえ、削除しました。
・就学前児童の保護者調査	前回のニーズ調査書P5、問15-2として 「問 子どもを預けたいときはありますか？」を追加できないか？ 低学年のうちは週1~3回だけ預けたい人もいると思うが、預け先がない。学童には保護者が週4日以上就労していないと、入れない。希望としては放課後子供教室が受け皿になってほしいが、小金井市の現状は違う。(他市では放課後子供教室が子どもの放課後の居場所の受け皿になっているところもあり、学童に入れなくても自由に子ども同士で遊べる安心安全な居場所として気軽に行ける自由な場となっている) ニーズを把握する為にも質問を入れて欲しいと思う。	北脇	就学児童の保護者調査に関するご意見ですが、質問内容が就学児童の保護者調査の問34・35と一部重なるうえ、トータル質問数が多いため、質問項目の追加は見送りました。ただし、「学童保育に預けたい」時があるが預けられないケースの1つである、「学童には保護者が週4日以上就労していないと入れない」ケースを問34の選択肢に追加しました。
・就学前児童の保護者調査	作成中。検討用資料について ③問27について 「土日保育サービスを利用したい理由をお選びください」は追加できないか？ 土日祝も仕事がある家庭が増えてきていることや、介護や短時間利用したい方のニーズも高まっていると思う。土日保育の仕事以外での利用希望に応える保育園だけでなく、理由も聞いたほうが良いと思う。 <仮案> 問 土日保育サービスを利用したい理由をお選びください(複数回答可) 1土曜日仕事があるから 2日曜日仕事があるから 3祝日も仕事があるから 4家族親族の介護 5リフレッシュ 6その他	北脇	ご意見を踏まえ、問28を追加しました。

・就学前児童の保護者調査	作成中。検討用資料について ④問37、38子育て支援事業の利用状況について 「3.新たに利用したり利用日数を増やしたいとは思わない」「4.利用していない」人に対して、その理由を尋ねていないことが気になった。利用を希望していない人が多数だった場合、その理由を分析し必要対策をとる必要があると思うが、しなくていいのか？	北脇	ご意見を踏まえ、問41を追加しました。
・就学前児童の保護者調査	作成中。検討用資料について ⑤問49、50、51については、必要ないように思うが、何のために聞くのか？	北脇	ご意見を踏まえ、削除しました。
・就学前児童の保護者調査	問49～問52 問題数が多いようだったら削除しても良いと思う。母子保健、健康関係は、回収率を上げるために、別に調査をした方がよいのでは。一度に詰め込むと、設問が多くなりすぎ、回収率を下げるように思う。	倉持	
・就学前児童の保護者調査	作成中。検討用資料について ⑥問53「理想とするお子さんの人数と実際のお子さんの人数についてどのように思いますか」とあるが、それぞれの家族の希望、年齢、経済状況などそれぞれの現況があるので、「理想」と質問されても漠然としていて答えにくいように思う。 東京都によるニーズ調査のように「今後、新たに子どもを持ちたいかどうか」と尋ねた方が、回答者としても答えやすいのではないかと思う。就学前児童の保護者調査書も同様 (http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/joho/soshiki/syoushi/syoushi/oshirase/hoikuneeds-result.files/hoiku-needs.pdf P81、Q63より) <修正案> 問53 今後、新たに子どもを設けたいと思いますか？(はい・いいえの二択) 問54 今後、新たに子どもを設けるのに必要な条件として、当てはまるものを選択してください(複数選択可) 1.待機児童が解消し、保育サービスを利用しやすくなれば(現状の選択肢1) 2.子育てや教育に対する資金援助(現状の選択肢2) 3.不妊治療に対する資金援助(現状の選択肢3) 4.育児休業期間がもっと長くなれば(現状の選択肢4) 5.在宅勤務や時短勤務など柔軟に勤務できるようになれば(新:東京都ではあり。復帰後の選択肢として必要) 5.働く必要がなくなれば(新:東京都ではあり。そもそもの問題としてこれもありそう) 6.育児の負担に対する夫(妻)の協力があれば(現状の選択肢5) 7.現状のままでもっと子どもを持ちたいと思う(新:家族計画の途中である場合に必要) 8.自分で考える出産適齢期を過ぎてしまったから、子どもをこれ以上持ちたいとは思わない。(現状の選択肢7) 9.その他	北脇	ご意見を踏まえ、修正しました。
	理想とする子どもの数、という聞き方がどうもなじまない。もう少し言い回しに工夫を。	水津	
就学前児童の保護者調査	作成中。検討用資料について P20問66 就学前児童の保護者に対する質問なので、高学年の放課後までは想像して答えにくいように思う。すでに小学生になっていけば高学年の放課後の過ごし方の具体的な希望もあるかと思うが、まだ就学前だと特に高学年の放課後の過ごし方までは考えがおよびにくいように思う。低学年のみの質問にすることはできないのか？高学年については、就学前児童用のニーズ調査で聞けばいいと思う。前回のニーズ調査書質問(P14)をみても、「※だいが先のことになります。現在お持ちのイメージでお答えください」と書いてある。だいが先のイメージで答える回答に、ざわざわ答えないといけない必要性はあるのか？	北脇	ご意見を踏まえ、放課後の質問項目、選択項目から「低学年(1年生～3年生)」と「高学年(4年生～6年生)」の区分を削除し、「小学校就学後」の質問として、修正しました。
就学前児童の保護者調査 就学前児童の保護者調査	検討用資料の問65-66 放課後の過ごし方についてだが、週何日と聞くと、合計で5日になるように、とかいろいろなことを考えてしまっ、回答者の立場だったらめんどくさいと思う。当てはまる番号に○だけでは不十分か。	鈴木	量の見込みを算出するために必要な項目であるため、原案どおりとします。

<p>・就学前児童の保護者調査 ・就学児童の保護者調査</p>	<p>前回のニーズ調査書を見ると、放課後子供教室の説明文があった。説明文は必ず入れた方が良く、説明が足りないと思うので追加をお願いしたい。</p> <p>文部科学省・厚生労働省 放課後子ども総合プラン連携推進室によると、放課後子供教室とは (http://manabi-mirai.mext.go.jp/houkago/about.html) 「地域の大人の協力を得て、学校等を活用し、緊急かつ計画的に子供たちの活動拠点(居場所)を確保し、放課後や週末等における様々な体験活動や地域住民との交流活動を支援するものです。」となっている。</p> <p><修正前>「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に学校の空き教室等で学習・スポーツ・文化芸術活動等を体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての子どもが利用できます。</p> <p><修正案>「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、子供たちの活動拠点(居場所)を確保し、放課後や週末に学校の空き教室等で学習・スポーツ・文化芸術活動等を体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての子どもが利用できます。</p>	<p>北脇</p>	<p>ご意見を踏まえ、修正しました。</p>
<p>・就学児童の保護者調査 ・中学校・高校生年代の保護者調査</p>	<p>「子育てと地域社会について」の中で、地域の子供会活動の参加状況という項目が上がっている。平成25年度調査項目にはなかったかと思う。個人的な感触だが子供会活動に参加している児童、生徒はかなり少ないのではないかと思う。実際の設問を見ていないので何とも言えないが、地域との関わりを調査するにあたって、子供会に絞り込む理由があるのか疑問である。</p>	<p>古源</p>	<p>ご意見を踏まえ、「子供会」は単独の質問項目ではなく、地域活動に関する質問の選択肢の1つとしました。</p>
<p>共通</p>	<p>作成中。検討用資料について ⑦問71 1つに○とあるが、複数回答可にならないか？</p>	<p>北脇</p>	<p>「最初にどこで認知したのか」を問う意図なので、選択は1つのみとし、質問文を「小金井市子どもの権利に関する条例を最初にどこで知りましたか。」に修正しました。</p>
<p>・中学校・高校生年代の保護者調査 ・中学校・高校生年代の青少年調査</p>	<p>「子どもは牛乳は飲むか」について牛乳と限定することで牛乳を毎日飲まないといけないというイメージが付くので、質問事項に入れるのは適切ではないと考える。メタボ率やバランスの取れた食事との実態の把握をしたい健康課の意向はあると思うが、この欄からは外していただきたい。</p> <p>前回会議でも話題になったが、「牛乳摂取」は、規則正しい食習慣や保護者の管理といった意味でなら、「バランスの取れた食事をしているか」に内包されるのではと思った。</p> <p>中高生への質問の牛乳はアレルギーの問題もある現代で調査の必要があるかということに疑問</p> <p>食生活に関する質問は必要であるか疑問。牛乳とメタボの関係をなぜこのアンケートで調べるのか。</p>	<p>北脇 古源 水津 鈴木</p>	<p>次期計画は母子保健計画や子どもの貧困対策計画を包含する予定であり、その関係から食生活に関する質問を入れようと当初考えたところですが、ご意見を踏まえ、「牛乳摂取」の項目は削除し、朝食摂取と食事メニューバランスの質問項目のみとしました。</p>
<p>共通</p>	<p>やはり実際の質問形式にならないとイメージしづらい部分がある。会議では実際に近い調査形式が展開されると思うのでその際に主にコメントしたいと思う。現状では、「利用していない人の利用していない理由」が多く目につくが、利用している人の利用している理由を聞くことも大事と思う。</p>	<p>有馬</p>	<p>実際の調査票の検討時に具体的な項目についてご意見をいただければと思います。</p>
<p>共通</p>	<p>牛乳や貧困関連の新設された質問について、ニーズ調査の目的、すなわち「子ども・子育て支援事業計画の策定に向けて、市民の教育・保育・子育て支援に関する利用状況や今後の利用希望等を把握し、同計画を策定するための基礎資料を得ることを目的とします」に合致しているのかどうか、得られた回答をどのように計画に組み込む予定なのか。</p>	<p>石川</p>	<p>ニーズ調査の目的としては、左記の子ども・子育て支援事業計画の関係がメインになりますが、次期計画では母子保健計画や子どもの貧困対策計画等も包含する予定であり、その関係で牛乳や貧困関連を入れようと当初考えましたが、ご意見を踏まえ、「牛乳摂取」は削除しました。また、貧困関連の調査結果は、「第4章 子ども・子育て支援施策の取組」に反映させたいと考えています。</p>
<p>共通</p>	<p>インターネット対応について、今回はできなくても次回はぜひ検討していただきたい。先日東京都から保育士資格保持者全員に実態調査アンケートがなされた。すべてインターネットでの回答だった。実にシンプルで答えやすかった。アンケートは回収率を上げることが何よりも実態に則したものになると思う。ぜひご検討を。</p>	<p>水津</p>	<p>今回は、費用対効果に鑑み、インターネット回収は実施しないこととしました。次回は、今回の回収率等も踏まえ、検討したいと思います。</p>
<p>共通</p>	<p>設問の数・順番などについては、検討した方が良くと思う。</p>	<p>布谷</p>	<p>ご意見を踏まえ、大分類項目、質問項目の統廃合、追加、並べ替えを行いました。</p>